

ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言について

日本福祉大学は、2017年1月に「ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言」を公表しました（裏面参照）。

国籍、人種、性別、性自認、性指向、信条、障がいの有無、価値観、これまでに培ってきた経験等が異なる一人ひとりの構成員（学生・教員・職員）が、互いの違いを認め、受け入れ、尊重しあい、自由に対等に活躍できるよう、環境の整備等に取り組んでいます。

～「ふくしの総合大学」として～

自分とは異なる相手、これまでに出会ったことのない人に出会ったとき、大切なことは、相手を尊重すること、「違い」を否定しないこと。違いを受け入れ、お互いを尊重することは、新しい価値の創造や発展につながると、本学は考えます。

■ダイバーシティ

Diversity 多様性

互いの「違い」を尊重し、受け入れ、「違い」を活かしていくこと。

■インクルージョン

Inclusion 包括、一体性

自分と異なる相手や、少数派（マイノリティ）を排除しない、「いろいろな人がいて、あたり前」であること。

キャンパスにはさまざまな構成員がいます

障がい

身体の障がいだけでなく、見た目ではわからない障がいを抱えている構成員もいます。

価値観

信条

国籍

性別・性自認・性指向

性のありかたは多様です。体の性と心の性は必ずしも同じではなく、性指向が異性とも限りません。

New!! ダイバーシティ・インクルージョン推進委員会が発足し、「日本福祉大学における学生の通称名等使用の取り扱いに関する規程」を施行しました（2018年10月）。通称名等使用については、下記へお問合せ下さい。

日本福祉大学

学生課または学生支援センター（美浜キャンパス）

半田事務室、東海事務室、大学院事務室、通信教育部事務室

E-mail : diver@ml.n-fukushi.ac.jp



日本福祉大学 ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言

日本福祉大学（以下、本学）は、「我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す」（積尊のお言葉）を根源とする建学の精神、および、「万人の福祉のために、真実と慈愛と献身を」という教育標語のもと、国内で最も歴史のある社会福祉学部を有する大学として、開学当初から、互いの人格や個性を尊重し協働する中で、「ふくしの総合大学」として成長・発展してきました。

しかしながら、現在も日々の学修や研究・就業等において障壁を感じている構成員がいることは事実であり、さらに社会や環境の変化等によっても、今後、さまざまな対応が求められていくことと思います。

さまざまな構成員と協働する場において、互いの多様性（ダイバーシティ）を尊重し、互いを受容（インクルージョン）することは、一人ひとりの能力を最大限に発揮することにつながります。また、多様な人材が活躍することは、学内のみならず、社会の発展にもつながると考えます。

本学は、国籍・人種・性別・性自認・性指向・信条・障がい等の差別を許さず、個々の価値観・経験なども含めた広い意味での多様性を尊重し、構成員一人ひとりが自由に対等に活躍できる学修、研究、就業環境の整備・推進に取り組み続けることを、ここに宣言します。

日本福祉大学